

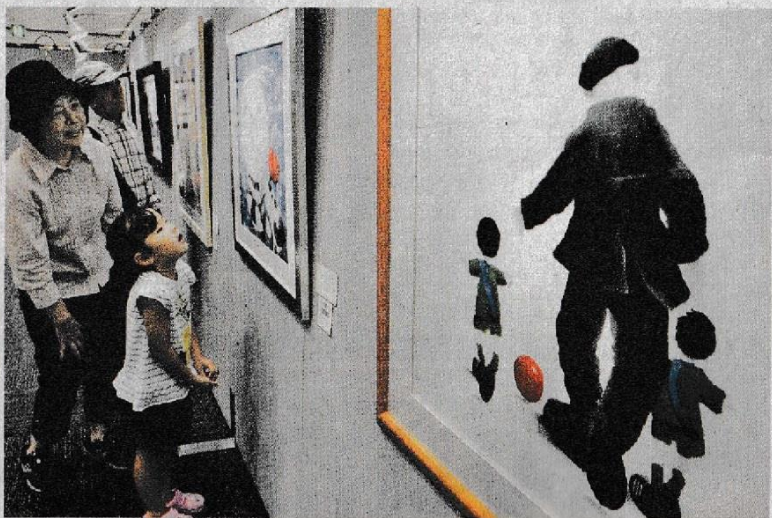
国内外の著名な画家らの作品を展示・販売する熊本地震支援のチャリティー企画「現代国際巨匠絵画展」が15日、宮崎市大淀4の宮交シティで始まった。17日まで。

県内の障害者就労支援事業所をつくる県福祉サービス事業協同組合が主催。企画会社の協力を得て、著名な画家ら約60人の原画やレプリカ約120点を集めた。売上金の一部は、熊本地震で被災した障害者の支援のために寄付される。

会場では、学習障害を持つ英国人画家マッケンジー

熊本の被災者を支援

宮崎 チャリティー絵画展



展示作品に見入る来場者

・ソープ氏の絵画や、清水寺(京都市)で1年の世相を表す「今年の漢字」を揮毫している森清範(みんずか)の書など、様々な作品を展示している。来場者は会場をゆっくりと回しながら、気に入った作品を鑑賞していた。

同組合の長谷川貴士理事長(55)は「多くの人に芸術作品を楽しんでもらい、被災者の支援につなげたい」としている。

各日午前10時〜午後6時。入場無料。問い合わせは、実行委員会(090・3410・6832)へ。

旅のこと



埼玉県所沢市・日本画家 原 宏之さん(58)

日本画家として30年間活動しています。宮崎市の宮交シティで17日まで開かれている熊本地震チャリティー企画「現代国際巨匠絵画展」に出展するため、初めて宮崎に来ました。地元

福島県会津の山々、日本三大桜の「淡墨桜」(岐阜県)を描いた作品などを展示。世界一流作家の力作も並ぶので、ぜひ見に来てください。14日には市内の福祉サービス事業所で交流会がある